



今年度もいろいろなことがございました。代表が在住する岩手県盛岡市は2023年に「世界で今年行くべき場所」としてニューヨーク・タイムズに取り上げられ、街中で多くの外国人観光客を見かけるようになりました。そのたびにふと「日本の文化を楽しんでいただけているだろうか」と心配になったりします。2024年は山口市が選ばれたとのこと。日本の国際化がますます進むことでしょう。そんな日本は災害大国、母国で地震を経験したことがない方が日本を訪れた際、この島国が大地ごと揺れることに強い恐怖を感じるに違いありません。海外から遥遥日本にいらした皆さんが安全で快適かつ穏やかに過ごせるようにしたいものです。我々もどのような災害が起こっても臨機応変に対応でき、外国人観光客の皆様への配慮ができるような準備をしなくては、と改めて感じます。

2023年4月～2024年3月 活動報告

● JUMP公式ウェブサイトおよびJUMP専用YouTubeチャンネルより、動画教材を視聴できるようになりました！



JUMP YouTubeチャンネル (URLは次ページに掲載)



JUMP会員限定動画教材
(視聴にはパスワードが必要です)

しばらく視聴環境が整わず、ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。修繕が完了し、現在は問題なくご視聴いただけます。

● 令和5年度岩手県主催総合防災訓練に参加しました！

2023年7月29日(土)、岩手県八幡平市旧東大更小学校で開催された検視・身元確認訓練、行方不明者相談受理訓練、遺体引き渡し訓練にJUMPサポーターの皆様多数が参加しました。気温35℃以上を記録する中での訓練でした。



訓練終了後にJUMP紹介ポスター前でサポーターの皆様と記念撮影
展示したポスターの一部(2024年3月改訂版)を次ページに掲載しました



達増拓也
岩手県知事

岩手県知事にJUMPについて説明する代表 ↑

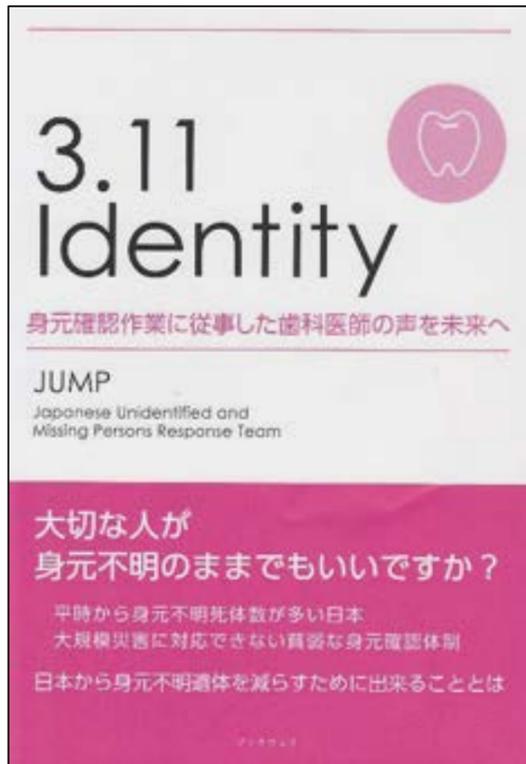
JUMP Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team 日本身元不明・行方不明者対策チームのご紹介



活動理念：日本の身元不明者・行方不明者ゼロを目指し、
日本国民の安心・安全な社会のために貢献する

活動開始：2015年10月～

チーム登録者数：63人、5団体（2024年3月1日時点）



JUMPメンバー分担執筆著書

「3.11 Identity

身元確認に従事した歯科医師の声を未来へ」

2016年3月発行 出版社 ブックウェイ



JUMPディレクター★と
全国JUMPサポーター●の分布

JUMPは、東日本大震災時の犠牲者身元確認作業に従事したことをきっかけに、日本の社会的問題解決に多面的な視点から貢献したいという志を持った女性歯科医師によって結成された任意団体です。

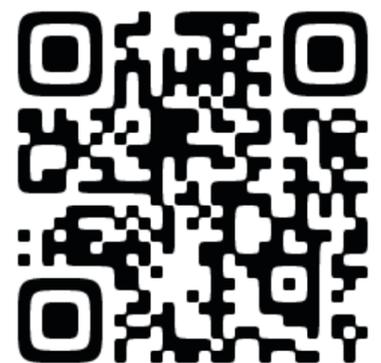
結成8年目を迎えた現在では、歯科医師だけでなく様々な職種の方々に支えられながら、共通の理念と適切で正確な活動の啓発を心がけ、セミナーやワークショップの開催、オンライン教材の制作に取り組んでいます。

JUMPホームページ
<http://jump311.html.xdomain.jp/>

JUMP YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/@jumpjapan>

JUMP フェイスブック
<https://www.facebook.com/identity.jump/>

JUMP インスタグラム
<https://www.instagram.com/jump.japan/?r=nametag>



JUMPサポーター募集中！
お問い合わせ：JUMP事務局 岩手医科大学法歯学・災害口腔医学分野 内
Email: jump.japan.311@gmail.com

- JUMPディレクター大林由美子氏が、令和6年能登半島地震におけるJDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) の派遣メンバーとして、2024年2月25、26日に石川県能登町の避難所等での口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援しました。



- JUMPサポーターの復元納棺師 笹原留似子氏のドキュメンタリー映画が完成しました。



視聴ご希望のサポーターはJUMP事務局までメールでお問い合わせください。

jump.japan.311@gmail.com

JUMPによる学術発表

● 学会発表

- 日本法歯科医学会第17回学術大会 (2023年5月14日 東京)
熊谷章子、大林由美子、岡 広子、波田野悠夏、勝村聖子、小菅栄子、山口里恵、斉藤久子。
「JUMP (日本身元不明・行方不明者対策チーム) が提供する遺族対応を含めた身元確認訓練用デジタル教材の紹介」
- 第42回歯科医学教育学会学術大会 (2023年7月 ウェブ開催)
斉藤久子、勝村聖子、岡 広子、小菅栄子、山口里恵、熊谷章子
「歯科所見を用いた身元確認作業に関するデジタル教材の活用」

レクチャー・セミナー

● 2023年11月5日（日）JUMP企画ワークショップ 「行方不明者歯科情報と照合可能な災害犠牲者死後記録採取」 会場：TKP浜松町カンファレンスセンター 参加者数：11名

午前に死者の歯科情報を採取、午後に後で収集された生前情報と午前に作成した記録との照合作業までを実施することで、死後記録の意義を理解することを目標としました。
ご参加いただいた皆様には、今回の内容を地元での訓練に役立てていただけると幸いです。



午前の部 災害犠牲者歯科的死後記録採取



午後の部 午前の記録と候補者情報との照合

JUMP企画
行方不明者歯科情報と照合可能な
災害犠牲者死後記録採取
ワークショップ

日 時：2023年11月5日（日）10:30～16:30
場 所：TKP浜松町カンファレンスセンター
〒105-0013 東京都港区浜松町1-26-1
味覚糖LHA館 カンファレンスルーム3B

災害犠牲者の歯科情報が、そのご遺体の身元特定に繋がることは周知のことです。今や日本全国で多くの歯科医師、更には歯学生を対象に死後記録採取の練習が実施されています。でもその記録、後に行われる行方不明者の歯科情報との照合に活かせるものとなってますか？警察官や遺族が納得できる鑑定結果を提示できるものですか？このWSは、死後記録採取から行方不明者情報との照合までを一つ一つ丁寧に見直す機会とし、参加した皆さんが地元での訓練等に活かしていただける内容を目指しています。

参加費：JUMP準会員（サポーター）無料
JUMP非会員 5,000円 当日会場でお支払いください。

参加登録方法：下記メールアドレスにお名前とご所属をお知らせください、
折り返し登録完了メールを送信いたします。
参加登録期間：2023年5月14日（日）～ 8月31日（木）
お申し込み者多数の場合は、期間終了時に締め切らせていただきます。

*参加者へのご要望の準備はございませんので、恐れ入りますが
会場外でお済ませくださいようお願いいたします。

お問い合わせ先：
JUMP Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team 事務局
jump.japan.311@gmail.com

● 2023年3月17日（日）JUMP企画セミナー 会場：ワイルド会議室 お茶の水 参加者数：22名

JUMPサポーター一般口演：夏林志成 先生（元自衛官、現保険代理店勤務）

「能登半島地震被災地での活動報告」

特別講演：Marques Jeidson 先生（Brazil, Feira de Santana州立大学 教授）

「IV CIDEM開催報告」

JUMPサポーター一般口演では、2024年1月1日に発生した能登半島地震による被災地でGeniesメンバーとして活動した夏林先生に、現場の実際をお話しいただきました。

Marques先生は、JUMP関連企画では2回目の登場です。コロナ・パンデミック後に開催された多職種連携大規模災害訓練開催報告をしていただきました。

2023年度JUMP企画セミナー
2024年3月17日（日）

会 場：ワイルド会議室 お茶の水 Room D
〒100-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル4F
https://wild-group.co.jp/space/ochanomizu/

JUMP準会員（サポーター）参加無料、団体サポーター1,000円、非会員3,000円
選次日本語通訳あり

特別講演講師 Jeidson Marques 先生
Universidade Estadual de Feira de Santana 教授

ブラジルの法医学者 Marques先生を再び日本へお招きし、
コロナ禍を経て5年ぶりに開催されたICCDM
[International Congress of Mass Disaster 国際大規模
災害学会] 主催の災害訓練を中心としたお話を伺います。
ブラジルでの災害対応を知ることで、日本の災害対応を
改めて見直すきっかけになることを期待します。

2019年開催 Ⅳ CIDEMの様子

タイムテーブル

13:30～ 開 場
14:00～ JUMP総会
14:15～ 講演会（JUMPサポーター口演、特別講演）
16:30 閉 会
17:30～ 懇談会

*懇談会は事前参加登録、場所はセミナー会場近くを予定
懇談会にご参加いただける方はJUMP事務局までeメールにてお問い合わせください

お問い合わせ先：JUMP事務局
Email: jump.japan.311@gmail.com



夏林志成 先生



Marques Jeidson 先生



2024年4月～2025年3月 関連行事のお知らせ

● 日本法歯科医学会第18回学術大会

日程：2024年5月26日 会場：大阪歯科大学 大会長：大草亘孝先生（大阪歯科大学歯科法医学室）

● 第19回警察歯科医会全国大会

日程：2024年8月3日 会場：山口県山口市湯田温泉 KAMEFUKU ON PALACE（山口県歯科医師会）

● 第30回日本災害医学会総会・学術集会

日程：2025年3月6-8日 会場：ポートメッセ名古屋 大会長：北川喜己先生（名古屋掖済会病院救命救急センター）

2023年

- ・ 2011年3月～シリア国内紛争 継続中。多くの人々が国外で難民生活、非公開行方不明者数は15万4千人とされる。
- ・ 2022年2月～ロシアのウクライナ侵攻 継続中。ウクライナ市民の死者1万人以上、難民600万人以上とされる。
- ・ 5月14日 ミャンマーにサイクロン「モカ」上陸 軍事政権に人道支援も阻まれ対応遅れ、500人以上死亡と報道。
- ・ 5月28日 カナダ山火事 1万6千人に避難指示。気候変動の影響とされ、今年は5～10月に頻発、時に制御不能。
- ・ 6月 2日 メキシコ溪谷で大量遺体発見 行方不明者7人捜索中に遺体が入った袋45個を発見、法医学捜査が続く。
- ・ 6月 2日 インド列車事故 特急と貨物列車が衝突、290人余りが死亡、その多くが出稼ぎ労働者、身元特定難航。
- ・ 6月 6日 ウクライナのダム決壊 水不足で住民にダメージを与えるためロシアが爆発物を仕掛けたと報道される。
- ・ 7月10日 九州北部豪雨 線状降水帯による短時間豪雨で、河川の氾濫、土砂災害が発生、7人が犠牲となった。
- ・ 7月30日 パキスタン政党集会で自爆テロ 過激派組織イスラム国系武装勢力が犯行声明を発表、50人以上が犠牲。
- ・ 7月28日 中国に台風5号「トクスリ」上陸 266万人以上が被災、死者・行方不明者は100人以上と報道。
- ・ 8月 8日 マウイ島山火事 115人が犠牲、観光地が壊滅的な被害を受け、経済損失は最大で8700億円。
- ・ 9月 8日 モロッコ地震 マラケシュ＝サフィ地方で発生。M6.8、3千人が犠牲、5千人が負傷、38万人が被災。
- ・ 9月11日 リビア洪水 低気圧による大雨、2つのダムが決壊、5千人以上が死亡、数千人が行方不明と報道。
- ・ 9月26日 イラクの結婚式場で火災 100人死亡。会場内の花火が原因で、直後照明が落とされ逃げ遅れたという。
- ・ 10月 7日 イスラエルによるガザ地区攻撃 パレスチナ武装勢力ハマスがイスラエルを襲撃したことをきっかけに、イスラエル軍はガザ地区への爆撃を開始、これまでに2万人以上が死亡、犠牲者の多くが子ども、行方不明者数千人。
- ・ 10月 7日 アフガニスタン地震 M6.3、西部ヘラート州で同規模の地震が連続4回発生。約3千人が犠牲。
- ・ 12月18日 中国内陸部地震 M6.2、死者数135人、8万人が被災、被災地は夜間の気温が-15℃の山岳地帯。
- ・ 12月18日 アイルランド火山噴火 火山噴火の恐れが高まった11月中に約4千人の住民がすでに避難していた。

2024年

- ・ 1月 1日 能登半島地震 M7.6、珠洲・輪島市で津波が発生、広範囲で家屋倒壊、犠牲者241人、行方不明者5人。
- ・ 1月 3日 イラン爆破テロ アメリカによる攻撃で死亡した司令官追悼式で発生。死者84人、負傷者284人。
- ・ 2月 7日 チリ山火事 気温の上昇と強風によって起きた現象と言われる。131人死亡、安否不明者300人以上。
- ・ 3月22日 モスクワ銃乱射テロ コンサートホールでの過激派組織戦闘員による犯行。137人死亡、182人負傷。

* 死者数、行方不明者数、傷病者数等はJUMPによる調査時点のものです

今年度も沢山の災害による被害を耳にしました。ロシアによるウクライナ侵攻は終わる気配を感じさせず、イスラエルによるガザ地区攻撃では、極めて非人道的行為がもたらされていることに心が痛みます。

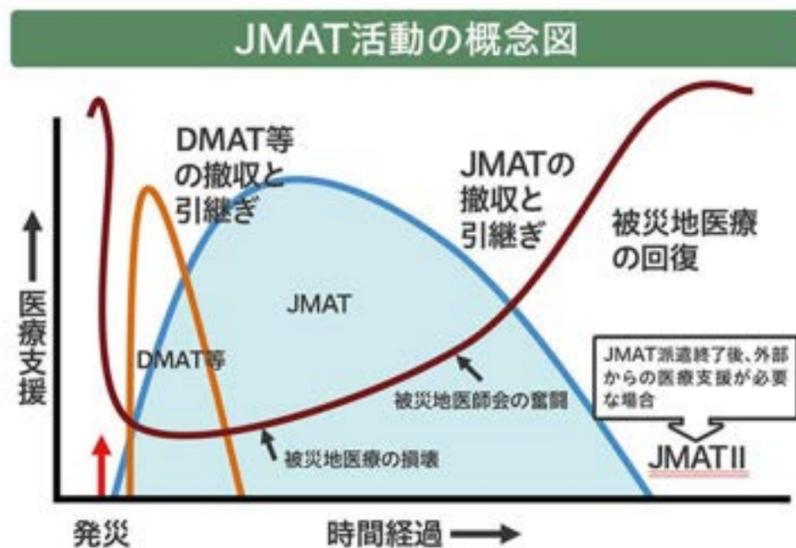
日本の災害では、やはり能登半島地震が衝撃的であったと言えます。あの緊急地震速報の警告音を思い出すだけで心落ち着かなくなる方も沢山いらっしゃるでしょう。これだけ多くの災害を経験している日本には、未だ太刀打ちできない課題が山積していることを目の当たりにしましたが、JUMPサポーターが率先して被災地での調整や活動をしていることを知り、非常に心強く感じ、JUMPとしても今後日本のどこかで起こり得る災害に備えなくてはならないと改めて痛感しました。この災害によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、遺族の方々、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして未だ安否不明の方々が一刻も早く見つかること、これ以上災害関連死者数が増えないことを強く願います。

JMATとJDAT

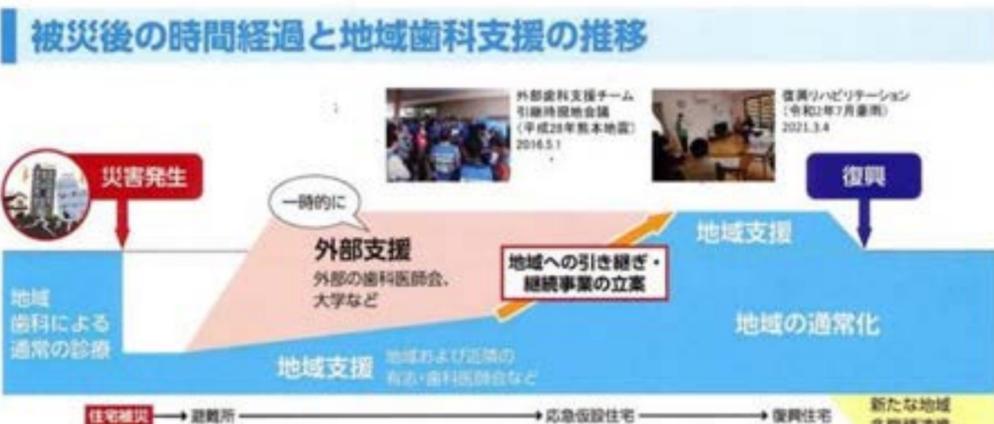
JMAT (Japan Medical Association Team) は2010年3月に創設された、被災者の生命と健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療や地域包括ケアシステムの再生・復興を支援することを目的とした日本医師会災害医療チームです。被災地の都道府県医師会の要請に基づく日本医師会からの依頼によって、全国の都道府県医師会が郡市区医師会や医療機関などを単位に編成します。その活動は災害急性期以降の避難所・救護所等での医療や健康管理、被災地の病院・診療所への支援で、**被災地の医師会が各保健医療調整本部等に参画することでコーディネート機能の中心となり**、被災地支援に入るJMATはそのコーディネート機能の下での活動を原則とします。病院歯科などの歯科医師がJMATに帯同する場合もあり、実際に熊本地震や能登半島地震では歯科医師がJMATメンバーとなっていますが、医師会による枠組みでの活動であるため、被災地で歯科支援ができるとは限りません。

JDAT (Japan Dental Alliance Team) 日本災害歯科支援チームは2022年3月創設されました。発災後およそ72時間以降に地域歯科保健医療専門職によって行われる災害歯科医療や避難所等での口腔衛生を中心とした公衆衛生活動によって、被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援することを目的としています。日本歯科医師会が基幹となり、日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本歯科医学会、全国行政歯科技術職連絡会、日本歯科商工協会等で構成される災害歯科保健医療連絡協議会が、被災都道府県歯科医師会や厚労省からの要請に基づいてJDATを被災地支援のために派遣する流れとなっています。つまり発災後**被災地JDATが速やかに状況を集約し**、災害対策本部となる日本歯科医師会災害歯科保健医療連絡協議会に繋いで、他都道府県にJDAT派遣要請をすることになります。支援に入るJDATは被災地の災害歯科対策本部からの要請に基づいた活動を原則とし、被災地の避難所等で歯科的応急処置や口腔衛生管理を行います。

JDATは「災害発生後に整備するのではなく、平時に研修を行いその体制を整備しておくこと」とされています。お気づきかもしれませんが、JMAT創設は東日本大震災の1年前、JDAT創設は能登半島地震の約2年前です。いずれもその体制や研修プログラムを確固たるものにしようとしていた矢先に起こった災害での初稼働となりました。「経験が最も有効な教育となる」とは言うものの、やはり有事が起こる前に備えることは非常に大切であること、発災直後の迅速な行動が極めて重要であることには変わりありません。日頃からの訓練や関係団体との連携、体制整備（誰が何を担うのか）、備蓄、発災直後からの積極的な活動（被災地の者によるコーディネーション）等、各都道府県で今一度災害時初動体制を見直し、改めてご自身の災害時の責務を考えてみましょう。



出典：内閣府 防災情報のページ
https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h29/90/news_06.html



出典：中久木康一 大規模災害時の歯科保健医療活動～口腔機能からの健康維持～

参考資料

JMAT本部 -公益社団法人 日本医師会- <https://jmat-hq.jp/> JMAT要綱
 日本歯科医師会 災害歯科医療対策について <https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/> JDAT活動要領 2022年10月（第1版）

監修

大黒 英貴 日本歯科医師会災害時対策・警察歯科総合検討会議副委員長 岩手県歯科医師会専務理事